

おびときいわい

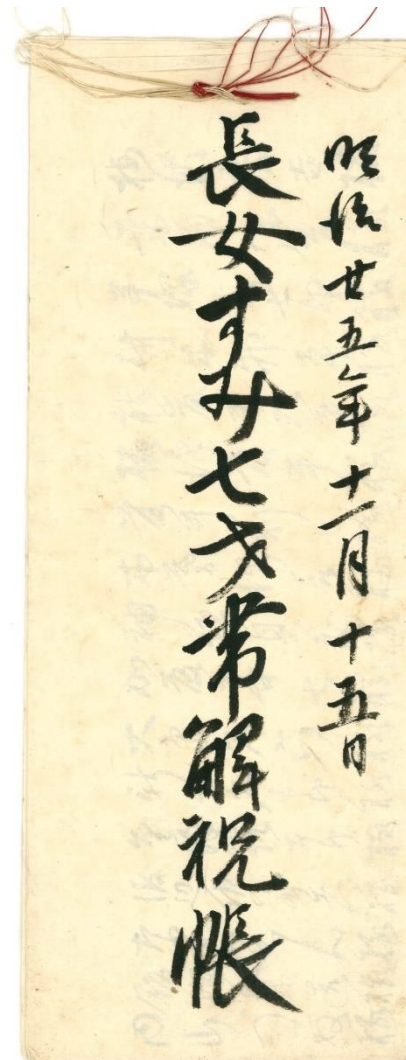
⑩ 長女すみ七才帯解祝帳

明治25年(1892)11月15日

「帯解き」は、大人と同じように、着物に帯を結ぶ女兒の儀式です。子供の着物には紐が縫い付けてあり、着付けしやすいようになっていましたが、この儀礼を経た子供の着物からは縫い付けた紐を取り外し、大人と同じ着付けにしました。史料に見られる種々の進物や、祝膳に用いたと思われる「たこ」や「まぐろ」などの海産物、食材五十人前の仕込みなどの記述からは、富商であった藤井家が「帯解き」の祝いを盛大に行っていた様子が読み取れます。

藤井新兵衛家文書 P9201 No.632

(前橋市住吉町)



⑩

長女すみ七才帯解祝帳

〔釈文〕

(表紙)

(一八九二)

明治廿五年十一月十五日

長女すみ七才帯解祝帳

祝ニ貫品ノ覚

十二月十四日

祝ニ貫品ノ覚

入 松魚節
式本

金澤銚太郎殿

花 簪 壹本

(はなかんざし)
花 簪 壹本

入 べつかふ
かんさし一本

大島久六殿

大島久六殿

入 小松魚節
式本

内山宗吉殿

琥珀切式ツ
白絹半カチーフ壺

入 琥珀切式ツ
白絹半カチーフ壺

大島老母様

銘酒壺升
せん子

入 銘酒壺升
せん子

平塚亥七郎殿

表付子供下駄壺
藤井利七殿

入 表付子供下駄壺

藤井利七殿

煎茶小半斤
塩かま式本

入 煎茶小半斤
塩かま式本

梅沢房吉殿

着切手
代十五銭

入 着切手
代十五銭

木暮浅吉殿

入用品ノ覚

一 糯米白式斗 赤飯

一 塩引大四本 四十切め

一 たこ大 三ばへ

一 まくろ 四十人前

一 其他八五人前ノ仕込

一 尾張やノ番頭ニ
式十銭祝儀ヲ遣ス

一 上酒壹升三十三銭ヲ
合計六升程入ル

入用品ノ覚

一 糯米白式斗 赤飯

一 塩引大四本 四十切め

一 たこ大 三ばへ

一 まくろ 四十人前

一 其他八五人前ノ仕込

一 尾張やノ番頭ニ

式十銭祝儀ヲ遣ス

一 上酒壹升三十三銭ヲ

合計六升程入ル